

広報さくら

◆◆第105号◆◆ 平成30年3月3日
発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ◆薫習（クンジュウ）…………… 学校長 …… 2 | ◆体育祭…………… 4～8 |
| ◆一年を振り返って…………… 会 長 …… 3 | ◆強歩大会…………… 9～11 |
| ◆講演会報告…………… 3 | ◆後援会活動報告…………… 12 |



ご卒業おめでとうございます。

お子様が高等学校の課程を無事終了し、ここに新たな出発点に立たれたことを心から祝福申し上げます。

3年前の若木は大地にしっかり

りと根を張り、養分を吸収し、枝を伸ばし、年輪を刻み、高みに向かって成長をしてきました。そして、その成長は周囲の力、とりわけ陰で支えてこられた保護者の力があってからこそと思います。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、今後もお子様を「付かず離れず」、適切な距離をもって見守っていただきたいと思います。

平成29年度後援会行事に際しましては、森田会長、中谷・中島・古屋各副会長、長田顧問はじめ総務部・研修部・広報部の各部長並びに委員の皆様、更には各学年委員はじめ大変多くの保護者の方々に、本校発展のためにと、絶大なるご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

5月の定期総会から始まり、商学部での「研修会」、文化祭「バザー・お茶処」、外部講師による「講演会」、「体育祭」の応援、「賀詞交歓会」、「強歩大会」トン汁作り、そして二度の「広報さくら」の発刊、役員会・学年別委員会の企画や運営などなど……枚挙にいとまがありません。



仏教用語に『薫習(クンジュウ)』という言葉があります。「習慣的に働きかけることで、物に香りが移り染みるように、影響を与える」という意味ですが、私は後援会活動は、ある意味『薫習』の働きをするものだと思っています。裏方の仕事が多く、生徒には直接関わることは少ないかも知れませんが、裏返せば、後援会活動は継続されることにより、生徒の心に、また、保護者の方々の意識に徐々にではあっても、確実に染み込み、変革をもたらす力があると信じているのです。

今後この「立派な後援会」を是非継承していただけたらと衷心よりお願いを申し上げます。

今年の3年生の進路(1/31現在)は、日本大学225名(67%)、他大学60名(18%)、専修学校21名(6%)・就職3名(0.9%)です。生徒達の頑張りにより、昨年引き続き大変良い数値が出ています。一方、現在27名の生徒が入試に挑戦しています。自分に課せられた試練と思い、苦しさの中ですが頑張ってください。そして、良い知らせが届くことを心から期待しています。

人は皆それぞれが、かけがえのない存在意義をもってこの世に生を受けました。生徒が今後の人生において、この日本大学明誠高等学校で培った感性や能力を十分に発揮するとともに、有為な社会人として大きく飛翔、ご活躍なさること並びに後援会の皆様のご多幸を教職員一同心より祈念いたします。

3年間にわたり、本当にありがとうございました。



平成29年5月の定期総会において会長に就任してから、早いもので一年が経とうとしています。

この一年を振り返ってみますと、周りの方から「怖い・・・」と言われるほど緊張して何を申し上げたかわからない総会での会長挨拶に始まり、6月には最初の事業である日本大学への研修会があり、今年度は毎年多くの生徒が進学している商学部へ伺いました。奥秋校長先生をはじめとした先生方、後援会委員および役員総勢69名で参加し、保護者の方々からは自分自身が学びたいとなるなどの感想が多く聞かれ、商学部の素晴らしい教育環境を体験することができました。

次に誠祭においてバザーとお茶処の開催を致しました。バザーは地元上野原の方々にもお馴染みになっているイベントで当日は多くの方がお越しになり、掘り出し物を購入いただき、地元の方ともたくさんの交流をはかることができました。お茶処においては、多くの生徒たちに定着しているため、利用する方が一日中途絶えることがありませんでした。バザー品の提供を頂きました保護者の皆様、野球部、サッカー部の保護者会の皆様、後援会OBの皆様、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。



9月には、昨年度に続き2回目となる保護者向け講演会を開催しました。勉強するのは子どもだが、現代は保護者の関与が非常に重要である等々、日々の子どもの関係をプラスとす

るための貴重な講演をきかせていただきました。

この原稿を作成している現在(2月)、この後の事業としては強歩大会支援事業と卒業謝恩会の開催となります。

強歩大会支援事業は今年度も子供たちのために、豚汁を1,000食作ってバザー売上金により購入するおにぎりとともに振舞い、野球部、サッカー一部の保護者の方にも協力いただきコース上での危機管理をする予定です。寒い中14kmのコースを疾走する生徒たちを少しでも労われればと思います。

最後の事業として、3月3日の卒業証書授与式後に行われる卒業謝恩会は、3学年の保護者からお世話になった先生方に感謝の気持ちをお伝えするために開催されます。現在は準備に追われていますが、この広報が発行される頃には盛大に行われていることと思います。

最後になりますが、PTA等の経験の全くなかった私ですので、会長としていたらぬ点が多くあった事と思いますが、校長先生を始めとする教職員の方々、後援会の皆さまの多くのご支援ご協力によりまして無事務めることができ、心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



講演会報告

日大明誠高等学校後援会

平成29年9月9日(土)本校多目的ホールにて、後援会主催の保護者向け講演会が実施されました。講師は ena 中学部代表の木戸孝士氏。

演題は「受験生を持つ保護者としての心がまえ」でした。「受験生」。とても緊張感のある響きです。保護者として受験生とどのように接したらよいか。先生のお話の中で、「受験生だからと特別扱いしない。」「普段通り接する。」「褒める・支える。」という言葉が大変印象的でした。その他にも、「より多くの受験情報を収集する。」「目

標は小刻みに設定する。」などの内容が盛り込まれていました。

講師の木戸先生のお話は、大変参考になることばかりで講演会の時間があっという間に過ぎ、有意義な会になったことと思います。ご参加くださいました保護者の皆さま、ありがとうございました。また次回をご期待ください。



開会式



準備体操



玉入れ



80m 徒競走



色別二人三脚リレー



大縄跳び



障害物競走



棒倒し



クラス対抗全員リレー



部対抗リレー



色別対抗応援合戦



ムカデ競争



台風の日



騎馬戦



棒引き



色別対抗リレー

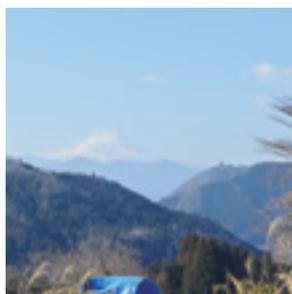


閉会式



強歩大会

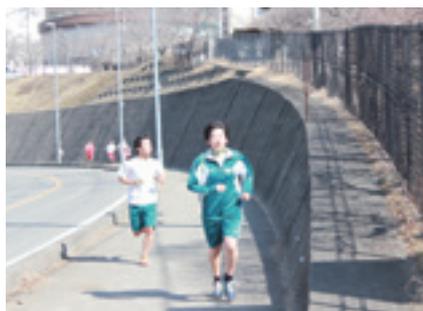
2月17日



強歩大会

2月17日





強歩大会支援活動報告

実行委員長 古屋 真知子

本年度の強歩大会は2月17日（土）に予定通り開催されました。

私たち実行委員会が本格的に活動し始めたのは、11月からです。11月の学年別委員会において、どのようなイベントで何をすれば良いかピンときていない1学年役員・委員のために、3学年役員によるプレゼンがあり初めての担当行事ということもあり、熱心に聞いていました。

前日準備は寒い中、冷たい水での洗い物、食材の仕込みおよびテント張りを賑やかに行いました。当日は、野球部とサッカー部の保護者の皆様

にご協力いただきながら、先生方とともに各所にて、コースを激走する生徒達の安全確保のための誘導と励ましの応援を行いました。そして1,000食の豚汁も最高の味で完成し、おにぎりとともに美味しく食べている生徒達を見て、私たちも最高の思い出になりました。

最後に大会の支援に協力してくださいました役員、委員、保護者の方々、また、運営に尽力してくださいました先生方に厚く御礼申し上げます。

これからも後援会活動にご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



平成29年

5月 後援会定期総会
第1回役員会・委員総会・学年別委員会

6月 後援会研修会(商学部)
誠祭バザー・お茶処 準備
誠祭バザー・お茶処 実施

7月 「広報さくら」発行 104号

9月 祭典パトロール
講演会「受験生を持つ親としての心がまえについて」

11月 体育祭
第2回役員会・委員総会・学年別委員会

平成30年

1月 賀詞交歓会

2月 強歩大会豚汁 準備
強歩大会豚汁 実施

3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」発行 105号

4月 入学式
第3回役員会

5月 第4回役員会・後援会定期総会

◆編集後記◆

今年度も皆様のご協力により「広報さくら」を無事に発行できました。発行にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました先生方、役員の皆様、また、お手伝い頂いた方々に広報部一同、深く感謝申し上げます。

学校行事の取材を通して子供達の本当に活々とした表情を見ることが出来ます。広報誌では日常で見られない子供達の姿をお伝えしたいと部員一同、協力して参りました。いかがでしたでしょうか？

これからも皆様に親しんで頂ける「広報誌」を心がけ、作成に励んで参りたいと思っております。ご意見、ご感想などお寄せ頂けると幸いです。一年間ありがとうございました。

(広報部一同)

